

愛媛県新居浜市垣生校区  
地区防災計画



ずっと住みたいね 災害に強い垣生

令和5年2月

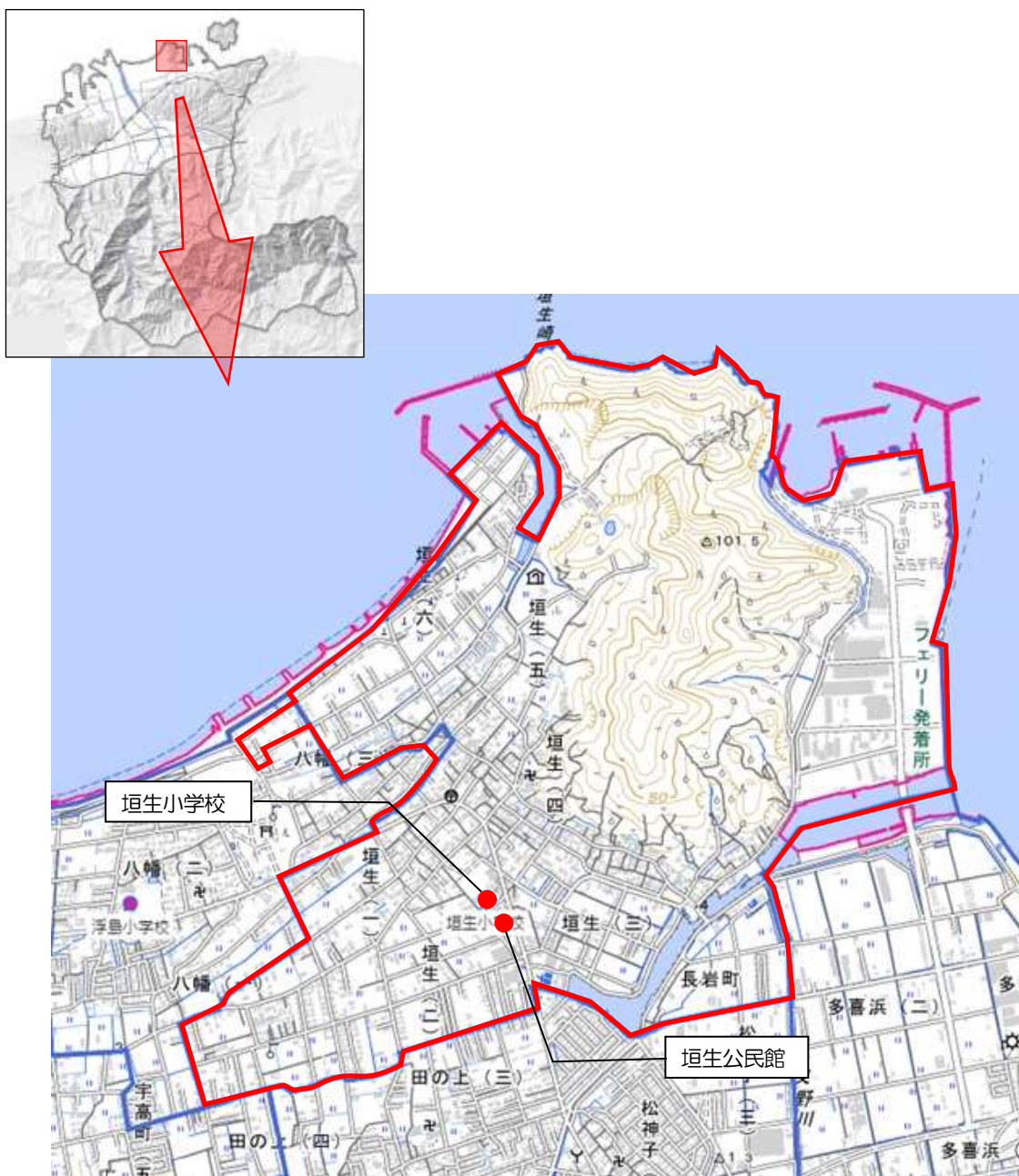
## 1 地域の概要

垣生校区は、市の中心部から東側に位置し、中央部から東側にかけて標高約 100mの垣生山があるため、主として西側の地域に住宅地が存在し、北側から東側にかけて瀬戸内海に面し、東側には関西方面への航路がある東港があります。

校区内には、垣生小学校、垣生公民館が立地されており、災害時には避難所として活用されることとなります。

愛媛県地震被害想定では、地震発生 30 分後の津波浸水エリアが垣生三丁目、六丁目、長岩町に存在し、地震発生後には、ただちに水平避難など、早期の避難行動が求められます。

また、海拔が低いため、ほぼ全域が高潮及び国領川洪水での浸水エリアとなっており、平成 16 年の災害の際にも住宅地の多い西側のほぼ全域が浸水した経緯もあり、水害予測時にも早期の避難が必要となります。



## 2 社会特性

### (1) 世帯・人口構成及び比率

(令和5年1月現在)

世帯	比率(%)	人口	比率(%)	男性	比率(%)	女性	比率(%)
1,884	3.3	3,994	3.5	1,919	3.5	2,075	3.5

### (2) 避難行動要支援者数(市で確認済みの人数)

(令和5年1月現在)

対象者数	同意	不同意	その他
85	61	10	14

## 3 自然特性・災害特性(地域で起こりうる災害)

### (1) 被害想定

想定震度	津波浸水深及び浸水開始時間	液状化危険度
7	0.5～3m 30分後	極めて高い(30<PL)※
土砂災害	洪水浸水	ため池浸水
特別警戒区域	あり	なし
警戒区域	あり	

※ PL=液状化可能性指数。数値が大きいほど液状化の危険性が高くなる。

### (2) 地理的特性

流域河川	二級河川	なし
	普通河川	なし
洪水浸水想定区域		垣生一～六丁目、長岩町
土砂災害特別警戒区域及び土砂災害警戒区域		垣生三・四・五丁目
南海トラフ巨大地震による津波浸水想定区域		垣生一～六丁目、長岩町

### (3) 想定される災害

災害種別	被災内容	備考
地震	想定震度7(建物倒壊、液状化)	
津波	最大想定浸水深0.5m～3m(地震発生から30分後)	20cmに達する時間
洪水	最大想定浸水深0.5m～3m(想定最大規模)	
土砂災害	土石流、急傾斜地の崩壊	

#### 4 防災の取組状況（予定）

取組時期	取組内容	対象
毎年 10 月下旬	校区防災訓練（消火器使用、負傷者搬送、応急手当等）	地域住民 小学生

#### 5 災害時の課題

区分	課題
地震	液状化現象が起きる。
水害・土砂	海拔が低い。 道路が狭い。 山と海に面している。 用水路が多い。

#### 6 災害時の現状

区分	現状
地震	津波発生時に高い建物が無いので避難場所がない。 崖崩れが起こる。
水害・土砂	ポンプ場に頼っている土地柄であり浸水の可能性がある。 崖崩れが起こる。 用水路が多く、水害時に落ちるおそれがある。
避難所開設運営	避難所が少なく、多人数の避難は無理である。 防災資機材の保管場所が限られている。
自助共助の向上	住民の横のつながりが少ない。 防災意識が低い。
要支援者の支援	要支援者の見直しが必要である。
その他	高齢者が多い。 空き家が多い。

## 7 災害時の対策

区分	対策
地震	想定津波高の表示（電柱など）をする。 垂直避難する。
水害・土砂	避難ルートなどを確認しておく。
避難所開設運営	避難所内の配置訓練をする。 防災倉庫内の備品の点検・整備をする。 HUG訓練を実施する。
自助共助の向上	防災意識を向上させる。 訓練への防災士の参加を依頼する。 小学生、中学生、高校生を活用する。 防災訓練を行う。 家庭で非常食を7日分、最低3日間の食料、水を確保する。 災害時非常持出袋を常備し、点検する。 災害時に食事（食材）を持ち寄る。 各家庭に1台以上の消火器を常備する。 防災ラジオ、懐中電灯等を点検する。 電気ブレーカー、ガス元栓の入切を家族全員が知る。 トイレ用ビニール袋を準備する。 災害に関することを家族で話し合う。
要支援者の支援	要支援者のリストアップをする。 要支援者リストの身近な小単位班までの情報開示を協議する。 一人暮らし家庭の寝室の位置を確認する。
その他	防災設備の設置場所を検討する。 非常用井戸水の活用法を知る。

## 8 緊急避難場所及び避難所

施設名	収容人数		使用制限	
	緊急避難場所として	避難所として		
垣生小学校	校舎 ※津波避難ビル	2,667 (2,000)	666	津波・高潮2階以上
	体育館	807	201	津波・高潮×
	グラウンド	7,646	—	津波・高潮×
垣生公民館		483	120	津波・高潮×

※「緊急避難場所として」欄の（ ）は津波避難ビルの場合

## 9 自主的な緊急避難場所

施設名	受け入れ対象地区	使用制限	備考
町自治会館	町南、町中、町北東、町北西自治会	津波×、高潮2階以上	
山端自治会館	大東一、大東二、中東、中西、大西自治会	津波・高潮×	
浮島小学校	西鳥端二区、町北西	津波・高潮2階以上	浮島校区と連携・協議必要

## 10 防災活動計画（5ヶ年計画）

### (1) 校区

実施内容 (実施対象)	年度計画					目標
	R5	R6	R7	R8	R9	
垣生としての防災マップ (3自治会・小学校)	検討	実施	検討	実施	検討	2年ごとに見直しする。 3自治会、小学校、防災士と連携してまち歩きを実施し、防災マップに反映する。
避難場所の明確化 (3自治会・防災士)	検討	⇒	実施	⇒	⇒	小学校と公民館以外の避難場所を探し、場所の明確化を図る。 浮島校区と連携・協議をする。
防災意識の向上 (3自治会・小学校)	実施	実施	実施	実施	実施	防災訓練を毎年実施するとともに内容を充実させ、住民の防災意識の向上を図る。
防災備品の充実 (3自治会・防災士)	検討	実施	⇒	⇒	⇒	どのような防災備品があるか明らかにし、点検整備を定期的に行う。

### (2) 自治会

実施内容 (実施対象)	年度計画					目標
	R5	R6	R7	R8	R9	
要支援者リスト 民生委員 自治会	検討 実施	⇒	⇒	⇒	⇒	毎年見直しを行い、要支援者を把握する。
各自治会へ防災倉庫設置及び内容の充実 自治会	検討	⇒	⇒	⇒	⇒	順次整えていく。

(3) 家庭

実施内容 (実施対象)	年度計画					目標
	R5	R6	R7	R8	R9	
トイレ用ビニール袋の準備 (家庭)	広報 実施	⇒	⇒	⇒	⇒	防災用品を紹介・広報する。 自助意識を高める。
最低3日間の食料・水の確保 (家庭)	広報 実施	⇒	⇒	⇒	⇒	自助意識を高める。
災害時非常持出袋の常備 (家庭)	広報 実施	⇒	⇒	⇒	⇒	防災用品を紹介・広報する。 自助意識を高める。